

第1回 タベマチフォーラム

9月3日(日)、新宿食支援研究会の主催にて、東京富士大学二上講堂(新宿区)において、「第1回最期まで口から食べられる街づくりフォーラム全国大会(通称・タベマチフォーラム)」が開催されました。当日は医療職、介護職種といった関連職種の方々500名近くが出席し盛況でした。

新宿食支援研究会(新食研)とは、「最期まで口から食べられる街、新宿」を理念に掲げ、平成21年7月、歯科医師の五島朋幸先生により設立された研究会です。新食研では「食支援」を、「本人、家族に口から食べたいという希望がある、もしくは身体的に栄養ケアの必要がある人に対し、適切な栄養管理、経口摂取の維持、食を楽しんでもらうことを目的としてリスクマネジメントの視点を持ち、適切な支援を行うこと」と定義しています。同研究会では、これを実現するため現在24職種(医師、歯科医師、歯科衛生士、栄養士・管理栄養士、看護師、リハビリ職など)129名が18のワーキンググループを構成して、それぞれがテーマをもって活動しています。本協議会も会員企業(株明治、アサヒグループ食品(株)、ハウス食品(株))とともにワーキンググループ「URUZO!(売るぞ!=五島先生の命名)」として活動しています(新宿食支援研究会ホームページ <http://shinnshokukenn.org/>)。

今回のフォーラムでは、同研究会および国内で同様の活動を行う地域の例(今回は「京滋摂食嚥下を考える会」)を紹介しながら、医療・介護職種による食支援に関するシンポジウムが行われました。

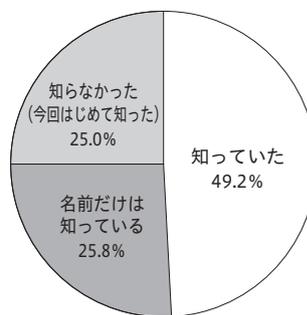
場内には企業展示コーナーも設置され、協議会を含む10社が出展し、UDFなどの介護関連食品をお知らせしました。

また、新食研ワーキンググループも日頃の成果を展示発表するなどして来場者に案内しましたが、協議会が参加しているURUZO!においても、「UDFを活用した病態別食(糖尿病、腎臓病対応)の提案」として、加工食品ならではの栄養成分表示を活用したUDF利用の応用を啓発しました。

本協議会のスペースでは認知度調査も実施しまし

たが、この結果、UDFを「知っていた49.2%」、「名前だけは知っている25.8%」で合計75%に認知されていることがわかりました。

今後もこのような活動を通じて食支援並びにUDFの普及に努めていきたいと考えています。



UDFとは何かご存知ですか？



会場

【会議、催事等の予定】

10月3日(火) 第3回技術委員会(エッサム神田ホール)

10月13日(金) 平成29年度第1回理事会(ニチロ畜産(株)会議室)

10月19日(木) 第2回業務用WG(本会会議室)

【UDF商品登録状況(1,936品目・8月末現在)】

	区分1	区分2	区分3	区分4	とろみ調整	合計
乾燥食品	0	1	12	0	85	98
冷凍食品	278	236	650	28	0	1,192
常温食品	140	163	219	123	1	646
合計	418	400	881	151	86	1,936

【会員の異動(8月)】

計70社(8月末現在)。

◎日本介護食品協議会では会員企業を募集しています。協議会とユニバーサルデザインフードについては事務局までご連絡ください。

事務局：東京都千代田区神田東松下町10-2

翔和神田ビル3階

TEL 03-5256-4804

FAX 03-5256-4805

<http://www.udf.jp/>